

キャップジェミニの クラウドマインドセット -SAP-

クラウドソリューションへの変革には、
クラウド思考へのマインドチェンジが必要





Agenda

- 01 キャップジェミニの考える
クラウドマインドセットとその成功要因
- 02 チェンジマネジメントの重要性
- 03 事例：SAP クラウドアーキテクチャ
- 04 キャップジェミニのPathソリューション
- 05 キャップジェミニの強み
- 06 クラウドERPとSAP



01

キャップジェミニの考える クラウドマインドセットとその成功要因



クラウドマインドセットとはなにか？

クラウドマインドセット

ビジネス環境は絶えずに変化しています。そのため、ビジネスプラットフォームには、環境の変化に対応できる柔軟な機能拡張性が求められています。また、標準的なベストプラクティスを迅速に採用する能力も必要です。クラウドテクノロジーを活用することで、頻繁に更新される標準的なベストプラクティスと最先端のソリューションを容易に取り込むことを可能となります。したがって、クラウドソリューションの利用は不可欠であり、**これがクラウドの考え方です。**

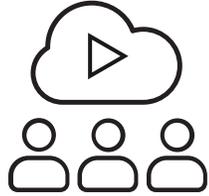
クラウドの考え方を採用することで、組織はより高い俊敏性、柔軟性、コラボレーションを実現し、クラウドが提供するビジネスおよび技術革新の活用を最適化できます。

IT にとって、「クラウド マインドセット」とは、ハードウェア、ソフトウェア、サービスの高額なメンテナンスから、コスト効率の高い IaaS、PaaS、SaaS のハイブリッドバージョンに移行できることを意味します。

企業にとって、これは古い拡張不可能なビジネス モデルから、変化するビジネス環境に対して迅速かつ柔軟に対応できるモデルへと転換することを意味します。また、プロセスとデータ構造を調和させ、最新のビジネスインテリジェンスデータテクノロジーを活用するために、ビジネス プロセスとデータがバランスをカバーするグローバル運用モデルを確立することも含まれます。

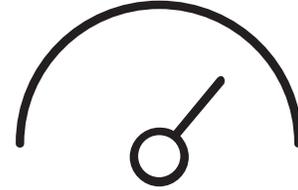


SAP S/4HANA Cloudを成功させるために必要なこと



標準に適合

S/4HANA Cloudの主要機能に関する認識と理解、
すなわち 最小限のカスタマイズで標準に適合



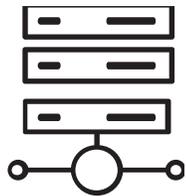
素早い

アジャイル方法論に従い、
アジャイルな働き方を取り入れる



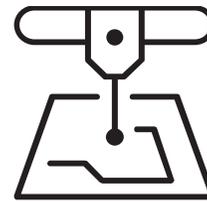
継続的なイノベーション

リリース サイクルに合わせて
継続的なイノベーションを導入する体制



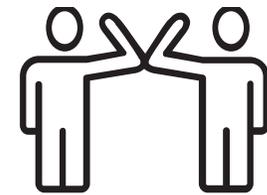
動的な拡張性&統合

SAP BTP 経由の拡張機能:
SuccessFactors employee central, Ariba
network, SAP Hybris marketing, Fieldglass,
Concur, SAP Jam



デジタルトランスフォーメーション

ユーザーはデジタル変革に積極的に取り組み、
目標とビジネスニーズを明確に理解している



コラボレーティブ

ユーザーは、サイロ化された作業ではなく、
共同作業による作業方法を採用している



02

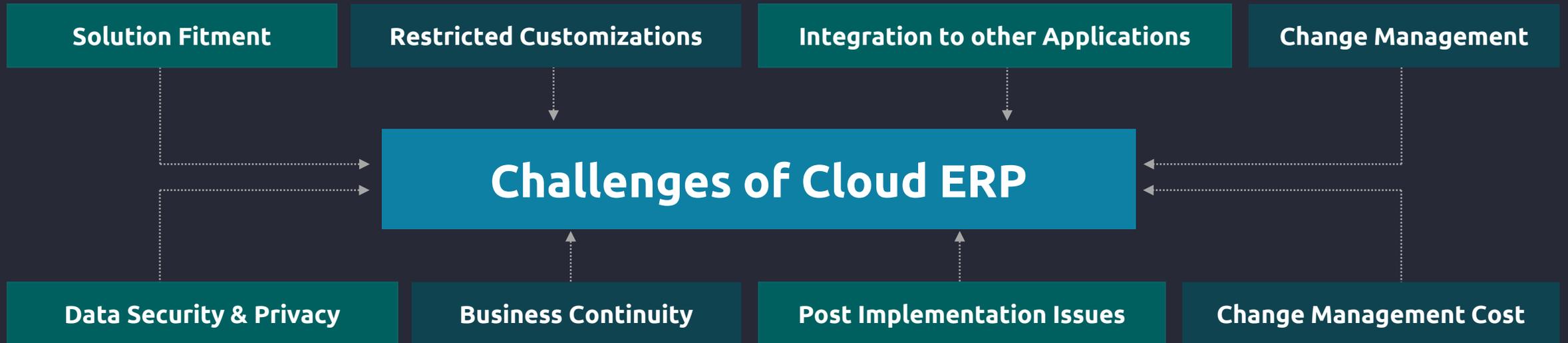
チェンジマネジメントの重要性



チェンジマネジメントでクラウドERPの懸念事項を解決に導く

- クラウドERPの導入には**マインドのシフトチェンジ(クラウドマインドセット)**が必要です。オンプレミスシステムでカスタマイズしたもののすべてが実装できるわけではありません。
- 上記の適合と統合を伴う**チェンジマネジメント**は、新しい進化したプロセスの再定義、プロセスの影響を受ける他のシステムへの変更、およびそれらに関連する人材のトレーニングが必要となります。これには、大きなタスクとコストがかかる可能性があります。

クラウドERPに関する懸念



Legend: Solution related Others

※キャップジェミニはASE(Accelerated Solution Environment)という、短期集中で集団検討をファシリテートするプログラムを提供しています。[ASEを活用した事例はこちらからご参照ください。](#)



03

事例：SAP クラウドアーキテクチャ



SAP クラウド モデルは、主に 2 つの柱に基づいています

1. S/4HANA RISE with SAP public edition or private edition:

- すべてのトランザクションが処理される SAP バックエンド エンジン
- データの主要な信頼できる情報源として機能する
- 最小限のカスタマイズで、スケーラビリティを容易にし、アップグレードサイクルの繰り返しを増やす

2. SAP Business Technology Platform (BTP)

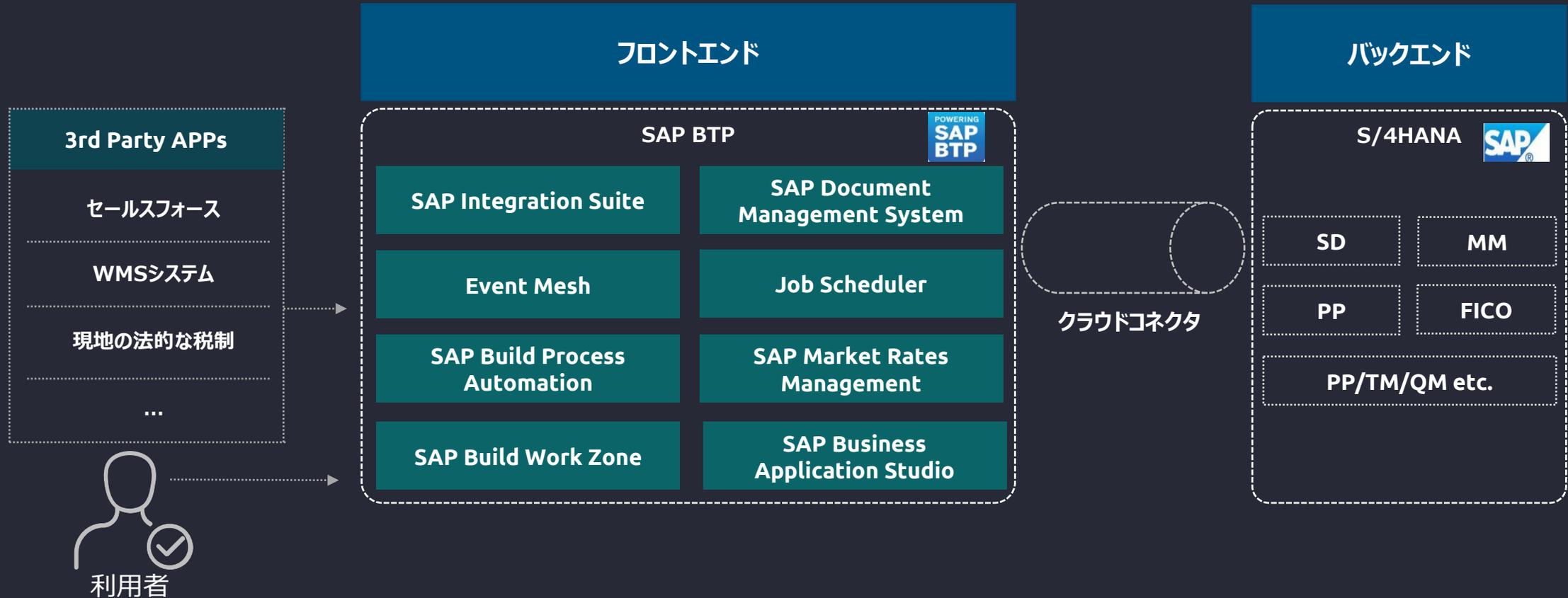
- SAP BTP は、S/4HANA に接続されたテクノロジープラットフォームであり、以下の機能をカバーするさまざまなサービスおよびプログラムをホストできます。
 - **アプリケーション開発と自動化** : Cloud foundry, business application studio, BPA
 - **データと分析** : SAC など
 - **導入** : SAP Integration Suite、イベントメッシュなど
 - **人工知能(AI)**: ジュール





SAP クラウドアーキテクチャの事例

グループ従業員数6万人以上、40以上の拠点をもつ日系化学メーカーに対してキャップジェミニが構築、2024年4月に最初の拠点でGO Live 済み





事例のご紹介

お客様の課題

- ◆ 独自のシステムを採用している海外現地法人が数百社にのぼる
- ◆ プロセスの標準化はなく、すべての関連会社が独自のプロセスを使用
- ◆ 日次レポートにおける情報の欠如
- ◆ データ統合がシステム外で行われるため非常に多くの時間かかる
- ◆ ローカルソリューションの大幅なカスタマイズ

弊社のソリューション

- ◆ キャップジェミニのPathソリューション*をアクセラレーターとして使用し、クライアントに以下をもたらした
 - 標準化されたビジネスプロセス
 - 即時利用可能なテンプレート
 - 方法論
- ◆ クリーンコアアプローチを保ち、BTPを活用したサイドバイサイドの拡張
- ◆ 不必要な開発を避けるために、可能な限りBTP標準サービスを採用

結果

開始から2年で

- ◆ SAPのベストプラクティスを活用したグローバルテンプレートを導入
- ◆ パイロット完了
- ◆ クリーンなコアを順守することで、短期間による定期的なアップグレードが可能
- ◆ 関連会社に展開するベースラインを構築

*Pathソリューション 以降のページでご紹介



04

キャップジェミニのPathソリューション



キャップジェミニは、クラウドトランスフォーメーションを加速するため、Pathソリューションと呼ばれるキックスターターパッケージを提供

Path ソリューション

SAPベストプラクティス

アクティベーションのためのモジュール式技術ソリューション

環境とテンプレート

業界別既存フローとテンプレートの一式により、クライアントのビジネスに合わせて即座にカスタマイズできます。

iCaptive の方法論

お客様のポリシー、ビジネスプロセス、シナリオにベストプラクティスを適応させ、グローバルテンプレートを実装するアプローチ

すぐに使えるキックスターターパック

- 1 信頼性の高いシステムベースラインとして SAPベストプラクティスを活用する
- 2 包括的な機能的スコープと即時利用可能な技術モジュール
- 3 機能設計ドキュメント、ウォーキングフロー、テストケースを含む、カスタマイズ可能なビジネスプロセスの一式
- 4 特定の業界向けに厳選されたビジネスプロセスマスターリストとビジネスシナリオ

キャップジェミニのPathソリューションを活用することで、クライアントは実装時間を最大 30% 節約できます。



Pathソリューションが、インテリジェントエンタープライズへの道のりを加速

Pathソリューション

コストを削減し、価値実現までの時間を短縮

SAPとCapgeminiによる業界に特化した継続的なイノベーションの恩恵を受ける

業界をリードする手法を使用して実装を標準化し、リスクを軽減します。

新規またはグリーンフィールド顧客

SAP環境の変革とイノベーションの導入を目指す中規模および大規模のお客様

新規実装によるSAP S/4HANAの導入を計画しているお客様

新しいビジネスモデルの導入を計画している顧客



Blue print

業界固有のリファレンスアーキテクチャを使用して、実践的なプロセスをモデル化することで、最大60%の節約が可能

実現

ベストプラクティスのプロセスが構成され、文書化されているため、最大40%の節約が可能

テスト

テストケーステンプレートと運用サポートテンプレートで最大30%の節約

システム変換アプローチを採用しているブラウンフィールドの顧客は、Pathソリューションを使用して、標準の業界ベストプラクティスに準拠した最適なアプローチを採用できます。

従来型アプローチ



Pathソリューションの
アプローチ





05

キャップジェミニの強み



キャップジェミニの強み

1. 日本のマーケットでもまだ実例が大変少ないBTP + SBSモデルを日系大手企業のグローバル展開でGO LIVEした実績があります。
2. キャップジェミニは、SAP の最新テクノロジーを早期に導入することを強く推進しており、日本および海外の当社のコンサルタントは、SAP および BTP ベースのソリューションを使用した RISE についてお客様にアドバイスする十分な資格を備えています。
3. さらに、キャップジェミニは、グローバルコンサルティングファームのリーダーとして、日本のお客様が日本での実績だけでなく、EU、米国、APAC地域の強みと能力を最大限に活用できる「One Capgemini」アプローチを採用しています。
4. キャップジェミニは、複数のオフィスとさまざまな大陸を並行して展開するグローバル展開をリードしてきた実績が多数あり、グローバルの知見を駆使してお客様を協力をサポート可能です。





06

クラウドERPとSAP

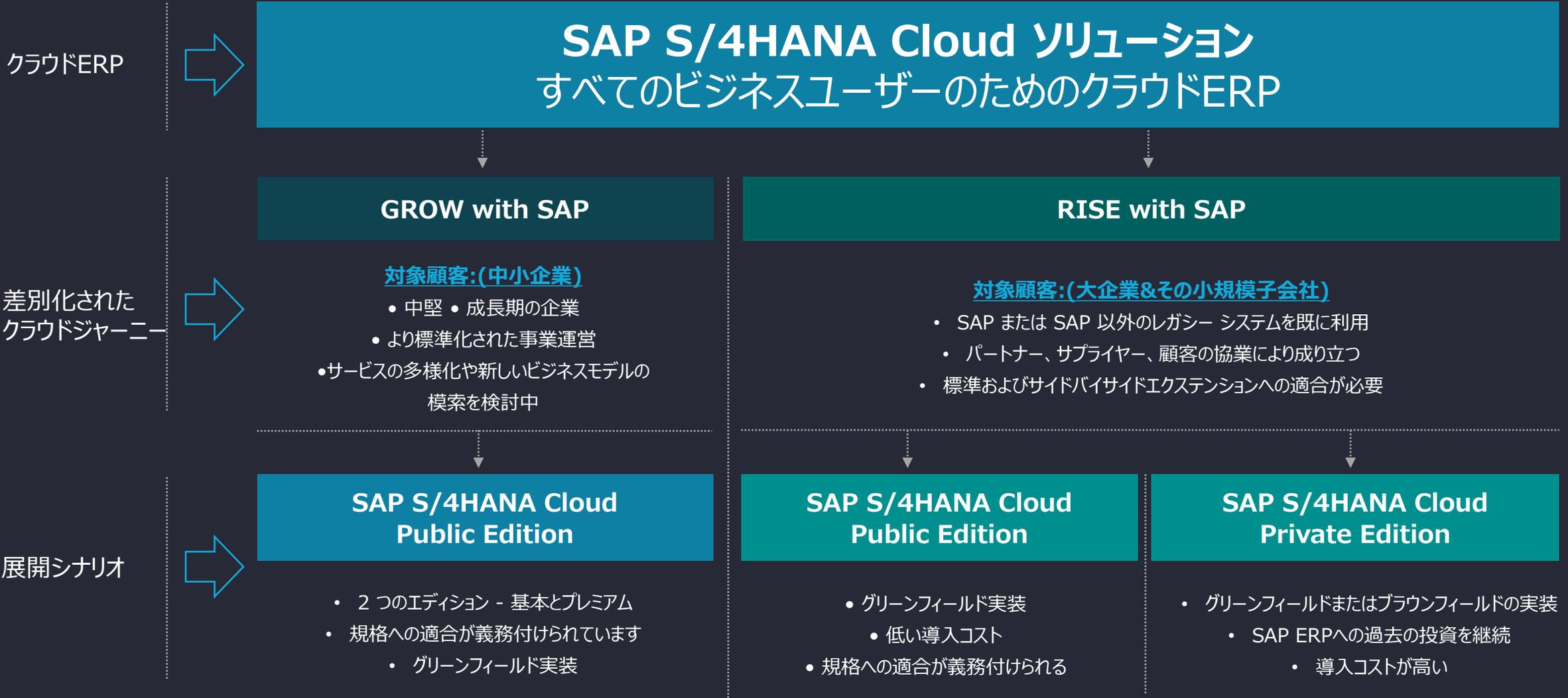


クラウドERPは成長中

- SAP クラウドERP は、インターネット経由でどこからでも利用可能であり、ほぼ無限の拡張性と革新性を提供します。クラウド ERP (SaaS ERP) は、プロバイダーのクラウド プラットフォームでホストされ、プロバイダーの IT チームによって管理されます。
- クラウド ERP は、プロセスをインテリジェントに自動化し、AI と機械学習を使用して洞察を提供し、企業のビジネス モデルの革新を支援するなど、さまざまなメリットをもたらします。
- クラウド ERP は広く普及しており、SAP社は2025年までに世界の収益の60%以上をクラウド製品から得る計画をしています。



SAP社 CLOUD ERP製品ラインアップ



*R&Dの機能であるSAP Business Network スターターパックは RISE with SAP でのみ利用可能

キャップジェミニについて

キャップジェミニは、お客様のビジネストラansフォーメーションならびにテクノロジーtransフォーメーションのグローバルパートナーです。企業が“デジタル世界”と“持続可能な世界”への移行を加速できるようご支援し、組織と社会へのインパクトを目に見える形で生み出しています。当グループは、世界50か国以上、約34万人の使命感あふれる多様性に富んだチームメンバーから成る組織です。55年にわたり培ってきた豊富な実績を有し、幅広いビジネスニーズへの対応をテクノロジーの力で支援するパートナーとして、お客様から厚いご信頼をいただいています。AI、クラウド、データ領域で市場をけん引する能力を発揮し、各業界への深い専門知識とパートナーエコシステムを組み合わせ、戦略・設計からエンジニアリングまでを網羅する強みを活かして、エンドツーエンドのサービスやソリューションをご提供しています。2023年のグループ売上高は22.5億ユーロです。

Get the future you want - 望む未来を手に入れよう | www.capgemini.com/jp-jp



This presentation contains information that may be privileged or confidential and is the property of the Capgemini Group.

Copyright © 2024 Capgemini. All rights reserved.